

平成 29 年版 歯科衛生士国家試験出題基準と本書との対照表

科目	範囲	大項目	小項目	備考	本書の対応項目
二 歯・口腔の構造と機能	I 歯・口腔の構造	2 歯と歯周組織	B 歯・歯周組織の構造		基礎編 2 章
			d セメント質		基礎編 2 章 4
			e 歯根膜 (歯周靱帯)		基礎編 2 章 3
			f 歯槽骨		基礎編 2 章 2
			g 歯肉		基礎編 2 章 1
	3 口腔と顎顔面の発生と加齢	D 口腔・顎顔面の加齢変化		基礎編 4 章 3	
	II 歯・口腔の機能・組成	2 歯と歯周組織	C 歯周組織の組成	コラーゲン含む	基礎編 2 章
			D 歯周組織の生理		基礎編 3 章
三 疾病の成り立ち及び回復過程の促進	I 病因と病態	14 歯周組織の病変	A 歯周病の分類と特徴		臨床編 4 章 1
			a 歯肉病変		基礎編 4 章 1 ① 臨床編 4 章 2 ①
			b 歯周炎		基礎編 4 章 1 ② 臨床編 4 章 2 ②
			c 壊死性歯周疾患		臨床編 4 章 2 ③
			d 歯周組織の膿瘍		臨床編 4 章 2 ④
			e 歯周 - 歯肉病変		臨床編 4 章 2 ⑤
			f 歯肉退縮		臨床編 1 章 2 ② 臨床編 3 章 4 ② 臨床編 4 章 2 ⑥
	g 咬合性外傷		臨床編 4 章 2 ⑦ 臨床編 5 章 2 ⑤		
	II 感染と免疫	11 歯周病	A 歯周病原菌		臨床編 1 章 2 ① 臨床編 2 章 2 ①
	四 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	IV 歯周病の予防	1 基礎知識	A 歯周病の有病状況	
B 歯周病の分類					臨床編 4 章 1
C 歯周病の発生要因と機序					基礎編 1 章 臨床編 1 章
D 歯周病の進行と症状					基礎編 4 章 臨床編 3 章
E 歯周病のリスク評価					臨床編 8 章 2 臨床編 17 章 2
F 歯周病と全身との関連					臨床編 15 章

※永末書店ホームページ内「追加情報」にのみ掲載

科目	範囲	大項目	小項目	備考	本書の対応項目
四 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	IV 歯周病の予防	2 予防方法	A 第一次予防		臨床編 6 章 1
			a プラークコントロール		臨床編 5 章 2 臨床編 7 章 2 ② 臨床編 16 章 4 ① 臨床編 17 章 1 ③
			b 歯周病の予防処置	術式は歯科予防処置論で出題する	臨床編 6 章 1 ②
			c 歯・口腔の健康診査、保健指導、リコール		臨床編 14 章 4 臨床編 17 章 2
			B 第二次予防		臨床編 6 章 1
			a 歯周病の検診		臨床編 5 章 2
			b 歯周基本治療		臨床編 7 章
			c 歯周外科治療		臨床編 9 章
			C 第三次予防		臨床編 6 章 1
			a 口腔機能回復治療		臨床編 11 章
	D セルフケア、プロフェッショナルケア、パブリックヘルスクア		臨床編 6 章 1 ② 臨床編 14 章 3 ①		
	VI 歯科疾患の疫学と歯科保健統計	1 歯科疾患の指標	B 歯周病に関する指標		臨床編 5 章 3
			B 歯周病の疫学		
		2 歯科疾患の疫学	a 宿主要因との関連		臨床編 1 章 2 ② 臨床編 2 章 2 ②
b 環境要因との関連				臨床編 1 章 2 ② 臨床編 2 章 2 ③	
	c 病因との関連		臨床編 1 章		
六 臨床歯科医学	I 臨床歯科総論	2 口腔内検査・口腔機能検査	C 歯周組織検査		臨床編 5 章
		3 画像検査	C エックス線撮影		臨床編 5 章 2 ② 臨床編 12 章 1 ③

科目	範囲	大項目	小項目	備考	本書の対応項目
六 臨床歯科医学	II 歯・歯髄・歯周組織の疾患と治療	3 歯周治療	A 歯周病の種類と病態		臨床編 3章 臨床編 4章
			B 歯周病の発現とリスクファクター		臨床編 2章
			C 歯周病と全身との関連		臨床編 15章
			D 歯周病の疫学に用いる指数とその解釈		臨床編 5章 3②
			E 歯周組織検査		臨床編 5章 2②
			F 歯周基本治療		臨床編 7章
			a プラークコントロール		臨床編 5章 2 臨床編 7章 2② 臨床編 16章 4① 臨床編 17章 1③
			b スケーリング・ルートプレーニング		臨床編 7章 2③ 臨床編 16章 4②
			c 暫間固定		臨床編 7章 2⑤
			d 咬合調整		臨床編 7章 2⑦ 臨床編 16章 4③
			e 習癖の修正		臨床編 5章 2⑥ 臨床編 7章 2⑨
			G 歯周病の抗菌療法		臨床編 13章
			H 歯周外科治療	名称と各療法の実施目的について出題する	臨床編 9章
			a 歯周ポケット搔爬術		臨床編 9章 2②
			b 新付着術 (ENAP)		臨床編 9章 2②
			c 歯肉切除術		臨床編 9章 2④
			d 歯肉剥離搔爬術 (フラップ手術)		臨床編 9章 2②
			e 歯周形成手術 (歯肉歯槽粘膜形成術)		臨床編 9章 2⑤
			f 歯周組織再生療法		臨床編 9章 2③
I 根分岐病変の治療		臨床編 10章			
K 歯周治療後の再評価		臨床編 8章 臨床編 10章 2③			
L メインテナンス、SPT (supportive periodontal therapy)		臨床編 8章 3 臨床編 14章 臨床編 17章 2④			

科目	範囲	大項目	小項目	備考	本書の対応項目	
七 歯科予防処置論	II 歯周病予防処置	3 歯・口腔の健康状態の把握	B 歯周組織		基礎編 2章 基礎編 3章	
			1 基礎知識	A 歯周病と生活習慣の関連		基礎編 1章 2 臨床編 2章 2 臨床編 6章
				B 歯周病と全身疾患の関連		臨床編 15章
		C 歯周病のリスク			臨床編 2章	
		2 歯・歯周組織の検査	A プロービング		臨床編 5章 2①	
			a プロービングポケットデプス		臨床編 3章 6 臨床編 5章 2① 臨床編 17章 2①	
			b アタッチメントレベル		臨床編 3章 6 臨床編 5章 2① 臨床編 17章 2①	
		2 歯・歯周組織の検査	c プロービング時の出血 (BOP) と歯肉出血インデックス (GBI)		臨床編 5章 2① 臨床編 5章 3② 臨床編 17章 2①	
			d 根分岐部病変の有無と程度		臨床編 5章 2① 臨床編 10章 1	
			E 動揺度検査		基礎編 3章 7 臨床編 5章 2①	
			F 検査結果の評価		臨床編 5章 臨床編 8章	
		3 計画	A 歯周予防計画		臨床編 6章 2 臨床編 14章	
			4 スケーリング・ルートプレーニング	A 使用器械・器具・材料の種類と操作法		臨床編 7章 2③
		a 手用スケーラー			臨床編 7章 2③	
		b 超音波スケーラー			臨床編 7章 2③	
		c エアスケーラー			臨床編 7章 2③	
		B 操作方法			臨床編 7章 2③	
		C シャーピング		臨床編 7章 2③		
		5 歯面清掃・研磨	A 使用器械・器具・材料の種類と操作法		臨床編 7章 2③	
II 歯周病予防処置	6 メインテナンス		A 目的		臨床編 14章 2 臨床編 17章 2④	
		B 評価		臨床編 8章 3		
八 歯科保健指導論	III 口腔衛生管理	3 対象別の指導	B 口腔状況に応じた指導		臨床編 16章 4	
			b 歯周病		臨床編 16章 4	
九 歯科診療補助論	III 保存治療時の診療補助	9 歯周外科治療	A 歯周治療用器材・薬剤の種類と用途		臨床編 9章	
			B 歯周用パックの種類と取扱い		臨床編 9章 2①・④ 臨床編 17章 2③	